

KMNの理念・運営方針

理念

地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワークは、施設間の垣根を越えた医療連携推進業務により、大阪府北河内医療圏における医療機関の機能分担と相互連携を推進する。また、地域住民に安心・安全かつ質の高い医療・介護サービスを提供し、北河内圏域における地域包括ケアシステムの構築に寄与する。

運営方針

参加病院等及び参加介護施設等において、将来を見据えた医療需要に対応できるよう業務連携を進める。

医療・介護をめぐる厳しい経営環境や少子高齢化問題に柔軟に対応するために、参加病院等及び参加介護施設等の経営の安定化と効率化を追求し、サービスの信頼性向上に取り組む。

参加病院等及び参加介護施設等の情報共有と相互連携を推進し、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる連携モデルを構築する

参加法人の役割

KMNにご参加いただく法人・個人には以下のご対応をお願いいたします。

医療連携推進事業への参画

前述の各種事業への積極的なご参画をお願いします。

各種会議への出席

- ◆年に2回の社員総会(2022年度:6月、3月)にご参加いただきます。
※上記期間以外に臨時社員総会を開催する場合がございます。
- ◆随時開催している事務担当者会議にご参加いただきます。

その他

- ◆KMN事業報告書作成のため法人の財務状況をご共有いただきます。
- ◆その他、定款で定める重要事項につき、予めKMNに諮問いただきます。
- ◆KMNの規程で定められている年会費をお支払いいただきます。(約12万円)

法人概要と沿革

法人名称 地域医療連携推進法人 北河内メディカルネットワーク(略称:KMN)

住所 大阪府枚方市新町2-5-1(関西医科大学内)

T E L 072-804-2640(KMN事務局 直通)

- 沿革
- 2018年11月1日 一般社団法人北河内メディカルネットワークを設立
 - 2019年6月12日 大阪府より地域医療連携推進法人の認定を受ける

これまでの取り組み

各種研修会の実施
(2022年度テーマ)

- ◆医療安全共同研修「医薬品に関する医療事故防止」
- ◆感染対策共同研修「今冬の感染症対策 COVID-19とインフルエンザ」
- ◆能力開発共同研修「コーチング研修」

検査予約システム

関西医科大学附属病院のCT・MRI・PET・シンチグラムの検査予約が可能

各種広報活動

KMNホームページ <https://kmnet.or.jp/>

KMN社員と役員一覧

(2023年9月1日時点)

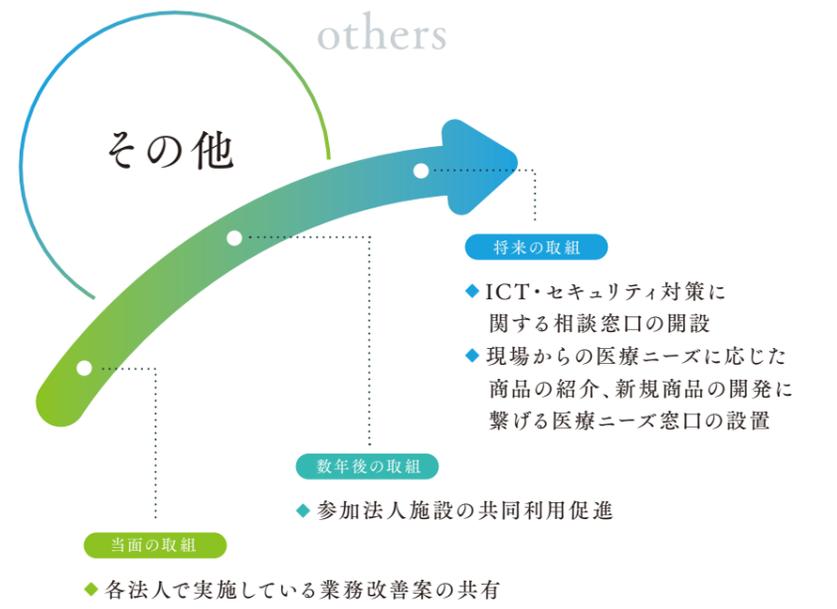
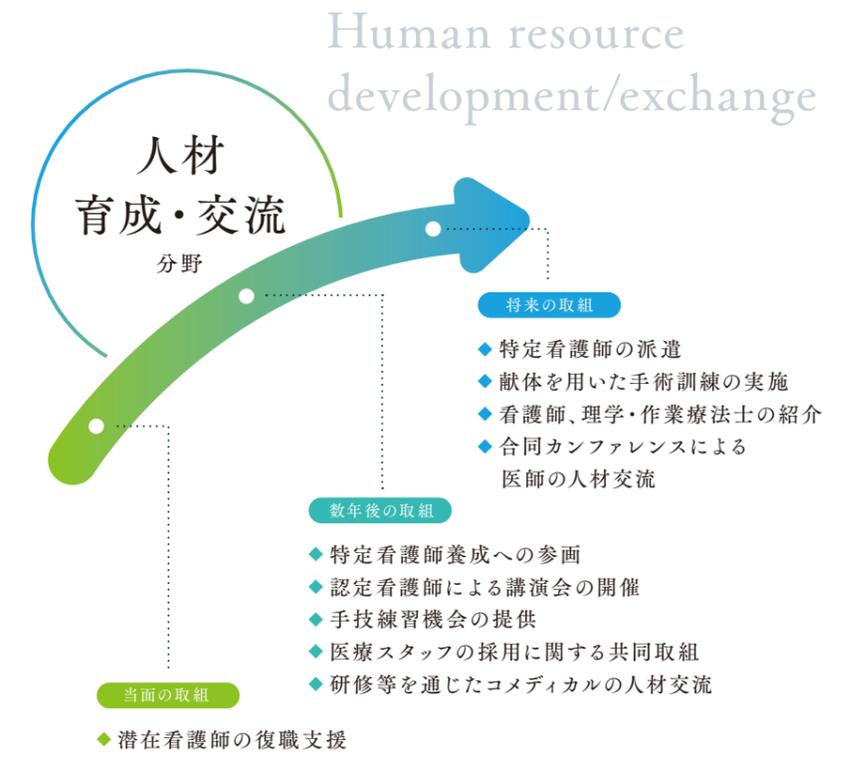
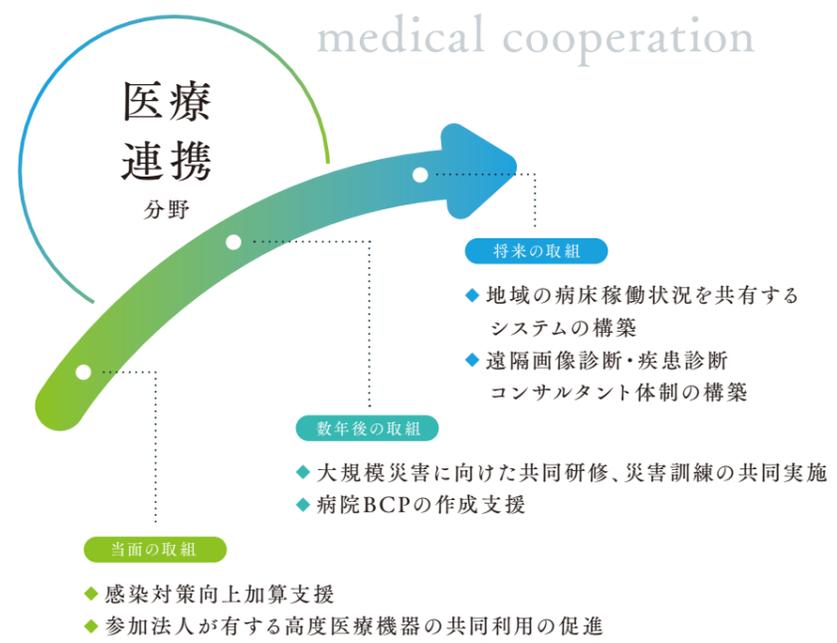
学校法人関西医科大学	山下 敏夫 代表理事
医療法人河北会	板垣 通孝 理事
医療法人毅峰会	吉田 和正 理事
社会医療法人山弘会	小林 卓 理事
医療法人和敬会	津田 信幸 理事
医療法人亀廣記念医学会	亀廣 摩弥 監事
医療法人道仁会	宮崎 悦子 監事

医療法人清水会
社会医療法人美杉会
医療法人(社団)有恵会
医療法人りんどう会
松島病院



地域医療連携推進法人
北河内メディカルネットワーク

KMNの今後の展望



代表理事ご挨拶

少子高齢化社会が進展する中で、地域包括ケアシステムを構築し、地域住民に対して質の高い効率的な医療・介護サービスを提供することは喫緊の課題です。KMNは、北河内二次医療圏（枚方市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市）の12の法人・個人が集い、2019年6月に大阪府初の地域医療連携推進法人として認定されました。それから早や丸4年が経過しましたが、この間、様々な連携推進業務を通じ、医療・介護の連携推進と効率化に向けて日々尽力しております。

昨今、地域医療連携推進法人への期待はますます高まりつつあります。少子化高齢化が予想以上のスピードで進み地域医療構想の早期具体化が求められる中、昨年内閣府から発せられた「経済財政運営と改革の基本方針2022」では、質の高い医療提供体制の構築と機能分化を一層進めていくために当該法人制度をより一層有効活用することが掲げられました。

このような社会背景の中、KMNは医療機関等の競争から協調への転換を進めるため活動を充実させ、地域医療の質向上に向けて取り組んで参ります。

代表理事 山下 敏夫